

栄養学科

学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

栄養学科では、管理栄養士として様々な領域で社会貢献できる専門家を育成することを目標としている。具体的には体系化されたカリキュラムを通じ、自発的な学修意欲を持ち続け、専門的知識および技術を有し、科学的根拠に基づく栄養管理を通して、人々の健康増進や疾病の予防・治療に貢献する管理栄養士を育成するための教育を展開している。そのため、以下の能力の修得を教育目標とする。

- DP1 管理栄養士資格を取得するのに必要な知識と応用力を身につけ、対象や目的に応じて展開できる。【大学 DP1・DP2】
- DP2 日々の生活の中において、栄養管理に関する課題を発見し、正しい知識に基づき、論理的に洞察できる。【大学 DP1・DP2】
- DP3 実験・実習や卒業研究でのグループワークを通じて、管理栄養士としてのマネジメント力やコミュニケーション力が身についている。【大学 DP2・DP3】
- DP4 体の仕組みの基礎的理解の上に、臨床現場で求められる栄養管理の意義を理解し、食事を用いて栄養療法を実践的に示すことができ、人々の生活の質（Quality Of Life：QOL）の向上に貢献する能力が身についている。【大学 DP2・DP3】
- DP5 国際的視野を有し、異分野との連携と協働を意識しながら、すべての人々の栄養状態を改善・維持し、健康増進を推進することで、様々な社会生活を支える力が身についている。【大学 DP3・DP4】
- DP6 豊かな人間性と高い倫理観を基盤に、健康の保持増進、疾病治療を担う専門職として責務を果たす自覚を持ち、主体的に社会参画する意欲と生涯にわたり学習を継続する態度が身についている。【大学 DP2・DP5】